



# 松工ものづくり キャリア・パスポート



## 「キャリア・パスポート」とは

あなたは小学校・中学校から、キャリア教育に関わる様々な学習や活動について、取り組んできました。

せっかくやってきた色々な気づきや貴重な学びについて蓄積し、心に残ったこと、発見したことなどを、学年をこえてつなげ、振り返ったり見通したりしながらまとめるポートフォリオ（成果集）がキャリア・パスポートです。

高等学校では、特に、学習、技能、実績について、自分が変容したこと、身につけたこと、努力・改善できたこと、夢中になっていることなどを計画的に振り返ります。

あなたが本校で取り組むパスポートは2年目に入りました。

「じぶんごと」として積極的に整理、記録し、評価をしていきましょう。

## 「ものづくりは人づくり」

ものづくりの原点は「人づくり」です。良いものをつくり、良い仕事をするには、良いヒトが求められます。

工業高校で学んだあなたの足跡（努力、経験、思考したこと）を主体的に掘り下げ、いかしていくことで自己実現や成長につなげてください。

とくに、ものづくりの視点を取り入れた成果集にし、未来を担う人材を目指してほしい！という思いから「ものづくりキャリア・パスポート（ものキャリ）」と呼んでいます。ですから、ワークシート以外にも、あなたのこれからの進路、働きかた、学びかたを考えるのに役立つ様々な資料、成果物などを綴じてもよいでしょう。

自分が通ってきた路にどのような名前を付けるか。

それこそが『キャリア（轍：わだち）』なのではないでしょうか。

科 2年 <small>（正式名）</small>	番	氏名 <small>（楷書で丁寧に）</small>
------------------------------	---	-------------------------------

# 意創道修

## 校訓「修道創意」と本校について

本校は今より百十年前の明治40年4月30日「松江市立工業学校修道館」の名で、市内南田町に誕生した。尋常小学校卒業後3年4ヶ月の徒弟学校(職工養成の学校)で、当時は制服も緋あかの着物に小倉の袴、下駄ばき姿であったという。街の人々は「修道館工業」と呼び親しんだとのことで、第1回卒業生は29名であった。

百年の星霜を経た今日、見事に全国一流の大規模工業高校に成長し、3万に迫る有為な人材を輩出してきたが、その間校訓は二度制定されては姿を消している。「校訓」は建学の精神に立脚したその学校の歴史・特性を象徴し、かつ、そこに集い学ぶ者にとって永遠の心の灯となるものである。

ところで、本校創立時の校名「修道館」は旧松江藩藩校修道館を継承する誠に由緒深い名称で、工業高校としては全国にその例を見ないものである。

「修道」の語は、源を中国古典『中庸』に発し「自律自学」をその本義とする。そして松江藩藩校の士道養成の法・道の指標として掲げられたと思われる。すなわち「自からの意志で学ぶことが人間として真に生きる道」の意であり、この東洋の哲学は、万古不易の教訓といってよく、けだし郷土教育の原点といえる。」(S.60.3.19中村元博士談)

## キャリア教育で培いたい能力（基礎的・汎用的能力）

- 人間関係形成・社会形成能力
- 自己理解・自己管理能力
- 課題対応能力
- キャリアプランニング能力

※4つの能力は独立したものではなく、相互に関連・依存した関係である。特に順位があるものではなく、全ての者が同じ程度、均一に身につけることを求めるものではない。

## 本校のキャリア教育で身につけたい力

- 実習等におけるグループ学習を通して、協働することができる
- 社会人・職業人として自立するために、思考や感情を律して学ぶことができる
- 課題研究等を通して、課題を発見・分析し、解決することができる
- 働く意義を理解し、主体的にキャリアを形成する

【ワーク】基礎的・汎用的能力とは

能力	要素	レベル1 ほとんど できない	レベル2 少しできる	レベル3 できる	レベル4 かなりできる
① 人間形成 ・ 社会形成 能力  	協働力 (グループ学 習を通して、 協働すること ができる力)	自分の役割や他の 人の役割に関心が ない。他の人とあ まり関わりを持と うとすることがで きない	自分の役割や他の 人の役割がわか り、他の人と協力 しようとしている	自分の役割や他の 人の役割がわか り、他の人と協力 することができる	自分の役割や他の 人の役割がわか り、より多くの 人と積極的に協力 することができる
	規律性 (ルール・マ ナー、約束を 守る力)	ルールやマナー、 約束を理解でき ず、守ることがで きない	ルールやマナー、 約束は理解してい るが、守れないこ とがある	ルールやマナー、 約束を理解して行 動することができる	ルールやマナー、 約束を理解してお り、他の人に注意 を促しながら行動 することができる
② 自己理解 ・ 自己管理 能力  	発信力 (自分の意見 を分かりやすく 伝える力)	身近な人であつて も自分の考えをき ちんと伝えること ができない	身近な人であれば 自分の考えをきち んと伝えることが できる	同世代の人であれ ば自分の考えをき ちんと伝えること ができる	様々な人に対し自 分の考えをきちん と伝えることがで きる
	傾聴力 (相手の意見 を丁寧に聴く 力)	相手の意見を理解 しようとし ない	相手の意見を理解 しようとしている	相手の意見を整理 して、理解を深め ることができる	相手の意見を整理 して、理解を深め ることができ、相 手の考え方に真摯 に向き合うことが できる
③ 課題対応 能力  	課題発見力 (現状を分析 し目的や課題 を明らかにす る力)	現状を分析しても 課題を見出すこと ができない	いつも以上に現状 を分析して、何と か課題を見出すこ とができる	現状を分析して、 現在の課題をきち んと把握すること ができる	現状を分析して、 現在の課題をきち んと把握し、これ から出てくるであ る課題を考えるこ とができる
	計画実行力 (目標への計 画を立て、実 行する力)	与えられた課題や 目標に対して、自 ら計画を立て実行 することができな い	与えられた課題や 目標に対して、自 ら計画を立て実行 しようとしている	与えられた課題や 目標に対して、自 ら計画を立て実行 することができる	自ら目標を設定 し、解決・達成の ために計画を立て て、確実に実行す ることができる
④ キャリア プランニ ング能力  	主体性 (自らが物事 に進んで取り 組む力)	指示されたとお りに行動することが できない	指示されたとお りに行動することが できる	指示されたことに 自分なりの工夫を 加え行動すること ができる	自らやるべきこ とを見つけ、積極 的に行動することが できる
	創造力 (新しい考え 方、価値、作 品などをつ くり出す力)	工夫や改善点を導 き出すことができ ない	これまでの経験や 学習から得た知識 や技術から、工夫 や改善点を導き出 すことができる	これまでの経験や 学習から得た知識 や技術から、自分 独自の答えを導き 出すことができる	これまでの経験や 学習から得た知識 や技術から、自分 独自の具体的な答 えを導き出すこと ができる

各能力①～④のなかで、現在の自分が「力をつけたい」と思う要素を二つ選び、○をつけてください。さらに、その要素で自分の達成度がレベル1からレベル4のどれに近いかを振り返り、○をつけてみましょう。

番号 ( ) 氏名 ( )

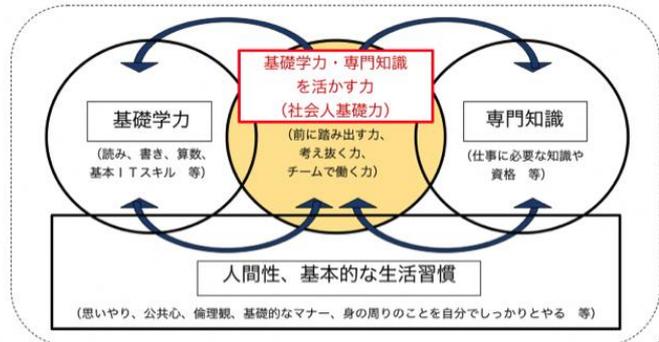
☆ 選んだ二つの要素のレベルについて、なぜそう思うのか、例えばどんな場面でどのようにできる、できていない、課題がある…など、自分の学び（授業、実習・課題研究、資格取得など）、学校行事、校外活動などを通した経験から振り返り、記入してみよう。

能力	どちらかの要素	振り返り
① 人間形成・ 社会形成 能力 	協働力 ・ 規律性	
② 自己理解・ 自己管理 能力 	発信力 ・ 傾聴力	
③ 課題対応 能力 	課題発見力 ・ 計画実行力	
④ キャリア プランニ ング能力 	主体性 ・ 創造力	
<ここは記入しない>		

【ワーク】 社会で求められている「社会人基礎力」という考えかたがあります。  
 図の3つの能力／12の能力要素を参考に、今の自分が力を入れていること、力をつけたいと思っていること、意識していること、課題だと思っていることについて、  
どのようなことがあるか、なぜそう思うのかを振り返り書いてみよう。  
 また、学年の目標とも合わせて考えてみましょう。

## 今、社会（企業）で求められている力

➤ 「基礎学力」「専門知識」に加え、今、それらをうまく活用し、「多様な人々とともに仕事をやっていく上で必要な基礎的な能力＝社会人基礎力」が求められている。



## <3つの能力／12の能力要素>

**前に踏み出す力 (アクション)**

～一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力～

**主体性**  
物事に進んで取り組む力

**働きかけ力**  
他人に働きかけ巻き込む力

**実行力**  
目的を設定し確実に行動する力

**考え抜く力 (シンキング)**

～疑問を持ち、考え抜く力～

**課題発見力**  
現状を分析し目的や課題を明らかにする力

**計画力**  
課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力

**創造力**  
新しい価値を生み出す力

**チームで働く力 (チームワーク)**

～多様な人々とともに、目標に向けて協力する力～

**発信力**  
自分の意見をわかりやすく伝える力

**傾聴力**  
相手の意見を丁寧に聴く力

**柔軟性**  
意見の違いや立場の違いを理解する力

**状況把握力**  
自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力

**規律性**  
社会のルールや人との約束を守る力

**ストレスコントロール力**  
ストレスの発生源に対応する力

出典：経済産業省

記入欄

番号（ ） 氏名（ ）

【ワーク】1学期に取り組むことを具体的に計画しよう。

(1) イメージしてみましよう。

(なりたい自分) - (いまの自分) = やるべきこと、何をすべきか

なりたい自分  
こうありたい!

(2) 今の自分 (いまできることは?)

性格、能力、好きな科目  
得意なこと、特にやっていること  
習慣、〇〇できる、〇〇できるように  
頑張っている、特徴(特長)取り  
組んでいる諸活動…  
※小さなことでもよいので  
挙げてみよう。

※「ものキャリ」ですので  
今の技術・技能、興味・関心を持っ  
ていること、こだわり、もっている  
(取りたい)資格も書いてみよう。

(3) なりたい自分に近づくために、まずこれをやってみよう!

1学期に取り組みたいこと、努力したいことを書きましょう。

「ものキャリ」的な発想を入れ、具体的なアクション、取り組み  
自分との約束、マイプロジェクト、チャレンジなど



※書いた内容は、今後どんどん変わり、進化してもよいと思います。のびのび、しっかり考えてみましょう。